

# 2020年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	輸送材料、発光材料、PCR診断キット用材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

## 第1四半期

単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

連 結	2019年度	2020年度	前年同期比
売 上 高	8,497	10,353	+ 1,856
営 業 利 益	472	2,260	+ 1,788
経 常 利 益	486	2,396	+ 1,909
親会社株主に帰属する 当期純利益	304	1,068	+ 764

為替レート

\$=109.66円  
W=0.0938円

\$=107.38円  
W=0.0883円

\$=ドル  
W=韓国ウォン

- ・ **売上高**は、機能性樹脂、基礎化学品、物流関連が減少したものの、機能性色素、アグロサイエンスが増加し、**1,856百万円の増収**
- ・ **営業利益**は、販管費が増加したものの、売上高の増加により、**1,788百万円の増益**
- ・ **経常利益**は、営業利益の増加に加え、為替差損が減少したこと等により、**1,909百万円の増益**
- ・ **親会社株主に帰属する当期純利益**は、経常利益の増加により、**764百万円の増益**

(単位:億円)

科目	2020年 3月末	2020年 6月末	増 減
(流動資産)	255	262	+6
現預金	68	73	+5
売上債権	112	102	▲9
棚卸資産	70	80	+10
その他	3	4	+0
(固定資産)	293	303	+10
有形・無形 固定資産	222	225	+2
投資有価証券	59	66	+7
その他	11	11	+0
合計	549	565	+16

科目	2020年 3月末	2020年 6月末	増 減
(負債)	178	174	▲4
仕入債務	41	38	▲2
有利子負債	71	68	▲2
その他	65	66	+1
(純資産)	370	391	+21
資本金	111	111	-
資本剰余金	87	87	+0
利益剰余金	113	122	+8
その他	57	69	+12
合計	549	565	+16

## 財務指標

・自己資本比率	61.8%	⇒	62.5%
・D/Eレシオ	0.21倍	⇒	0.19倍

有利子負債	71億円	⇒	68億円
現預金	68億円	⇒	73億円

第1四半期

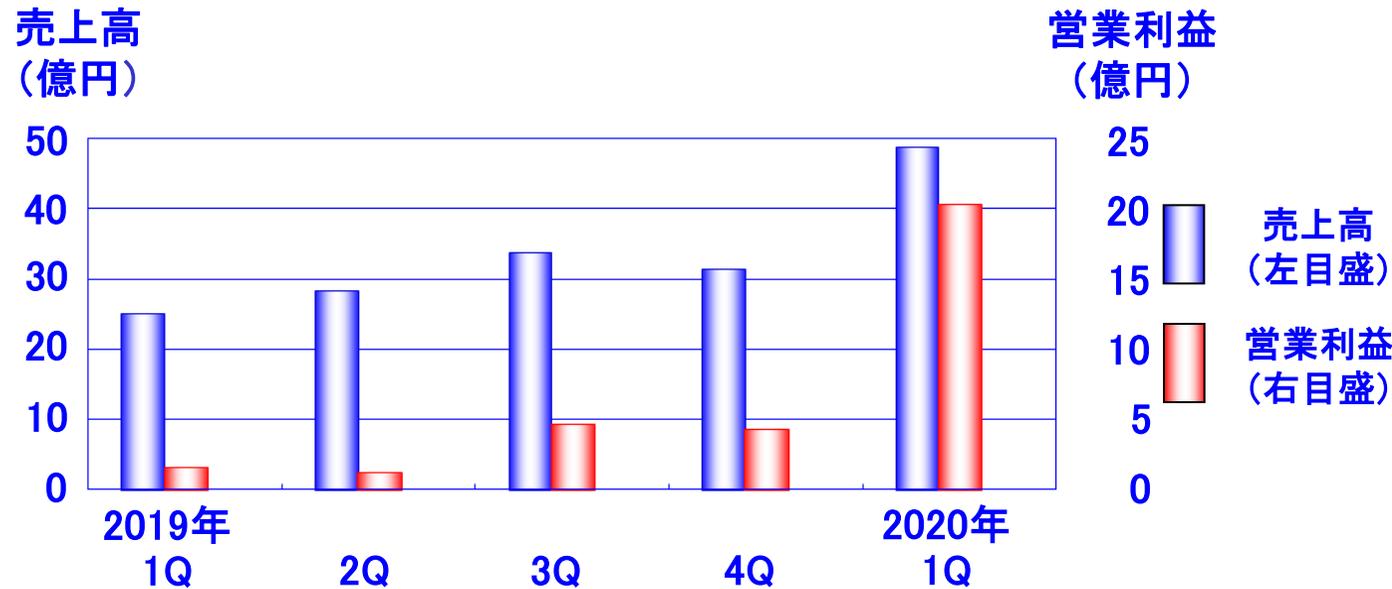
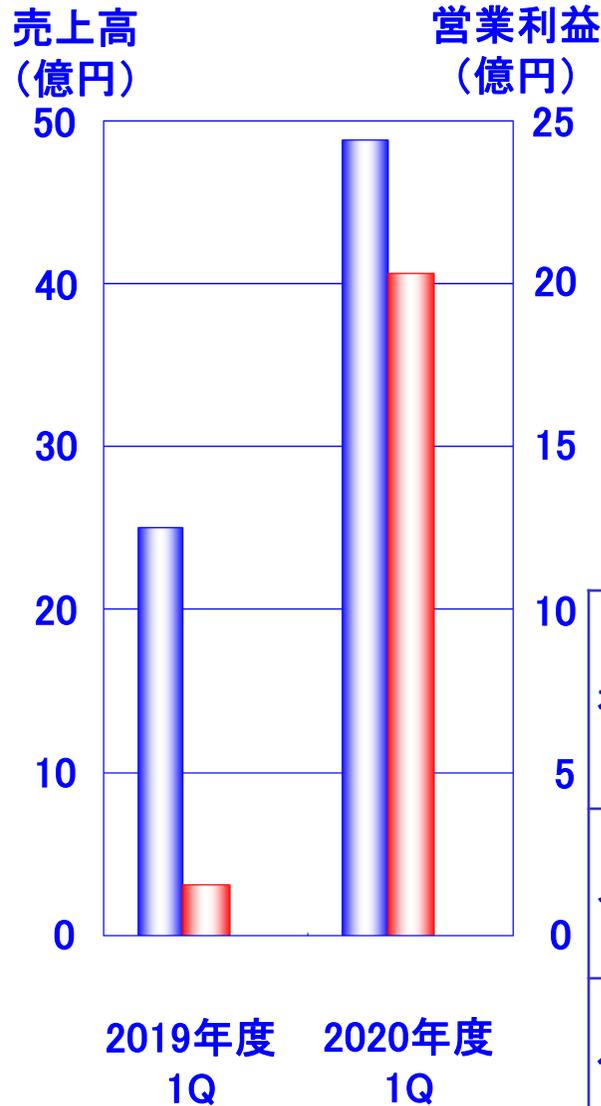
単位：百万円  
表示：百万円未満切捨

セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機 能 性 色 素	2,502	4,886	+ 2,383
機 能 性 樹 脂	2,787	2,272	▲ 514
基 礎 化 学 品	1,727	1,621	▲ 106
アグロサイエンス	945	1,088	+ 143
物 流 関 連	491	445	▲ 46
そ の 他	42	39	▲ 2
合 計	8,497	10,353	+ 1,856

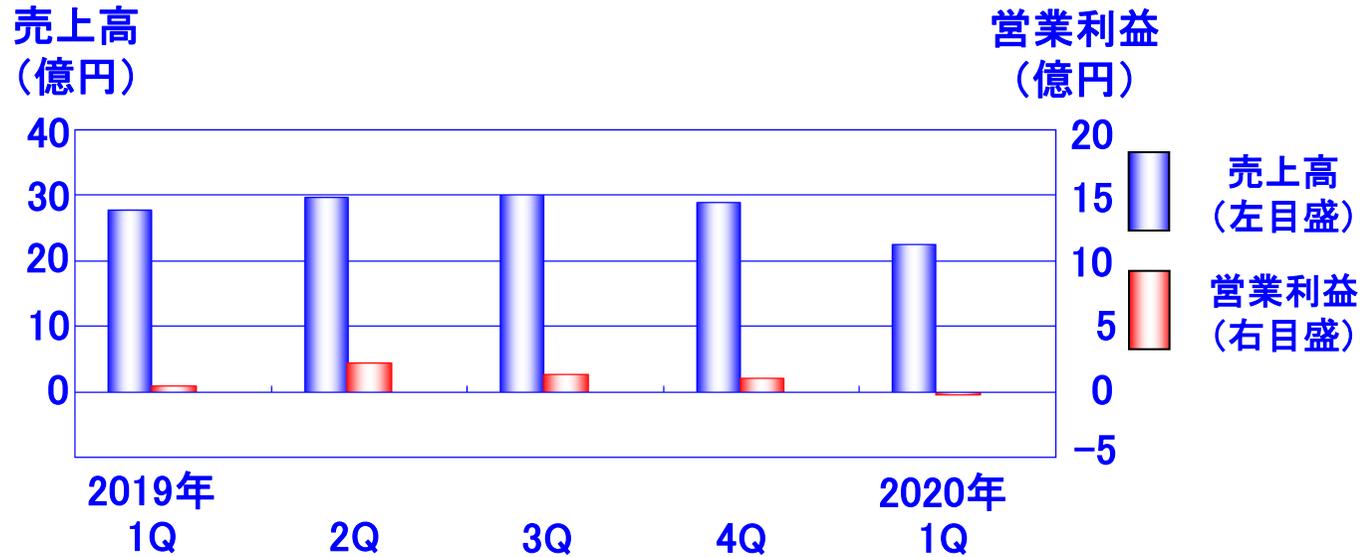
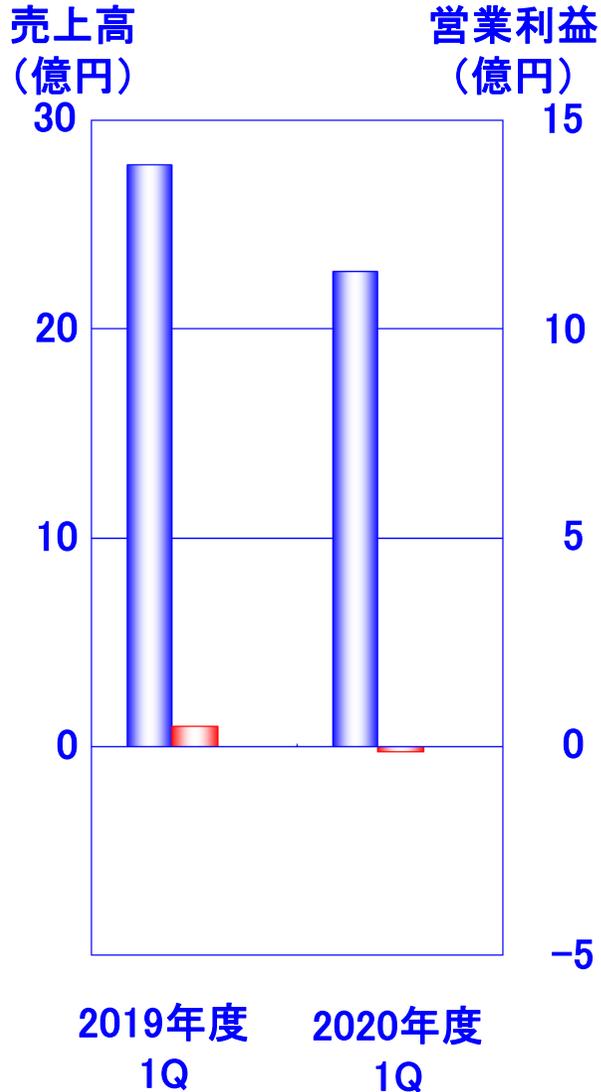
第1四半期

 単位：百万円  
 表示：百万円未満切捨

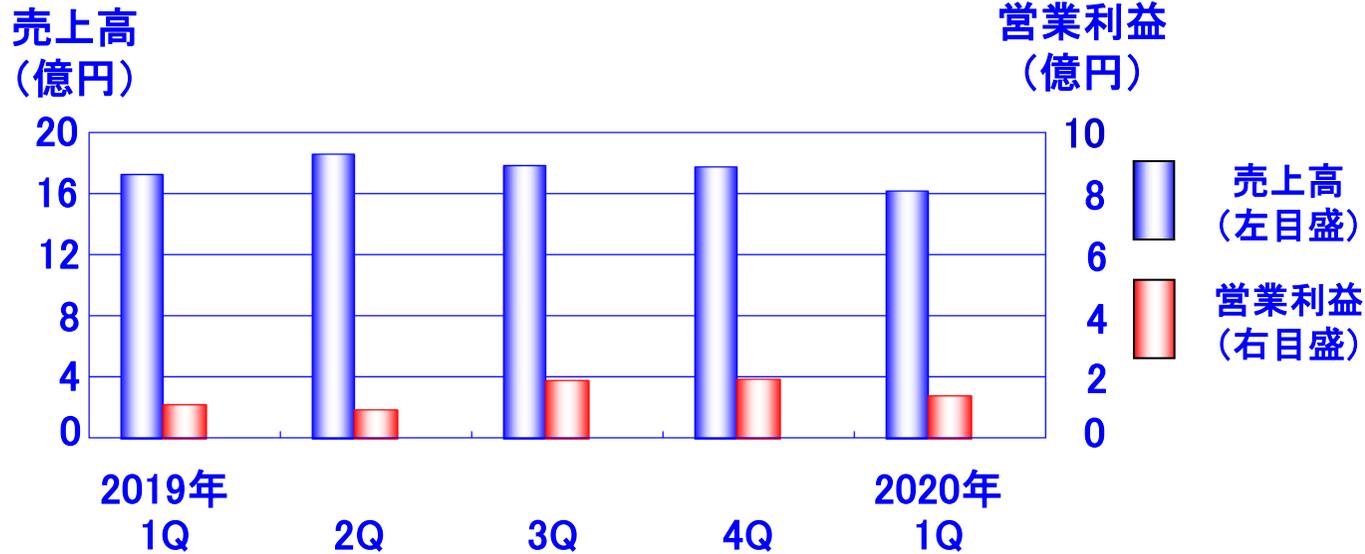
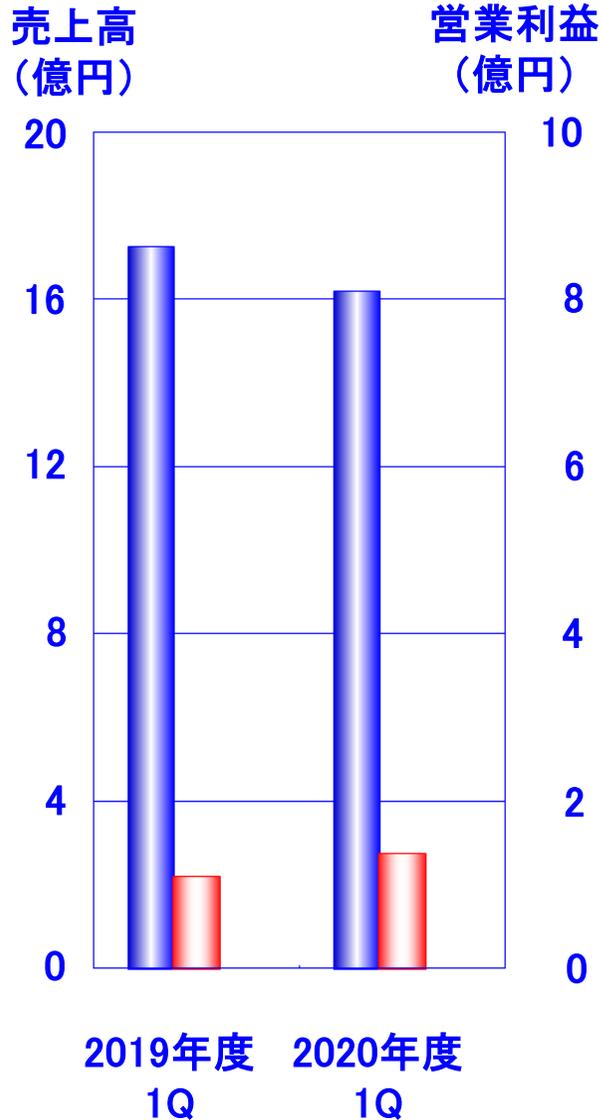
セグメント	2019年度	2020年度	前年同期比
機能性色素	156	2,031	+ 1,874
機能性樹脂	49	▲ 12	▲ 61
基礎化学品	110	138	+ 28
アグロサイエンス	58	16	▲ 42
物流関連	108	80	▲ 27
その他	▲ 12	5	+ 17
合計	472	2,260	+ 1,788



有機EL材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートフォン向けディスプレイ分野で液晶から有機ELへの切り替えが進み、需要が増加したことや、当社の子会社で、有機EL材料の用途展開として、PCR診断キット用材料の開発に成功し、複数の診断キットメーカーに採用されたことで、増収</li> </ul>	
イメージング材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プリンター向け材料の需要低迷に加え、新型コロナウイルス感染症により、在宅勤務への移行が加速したため、印刷需要が減少し、減収</li> </ul>	
色素材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ着色用染料でスマートフォン向け販売の伸び悩みや、用途展開の遅れに加え、新型コロナウイルス感染症により、繊維向け染料の需要が減少し、減収</li> </ul>	



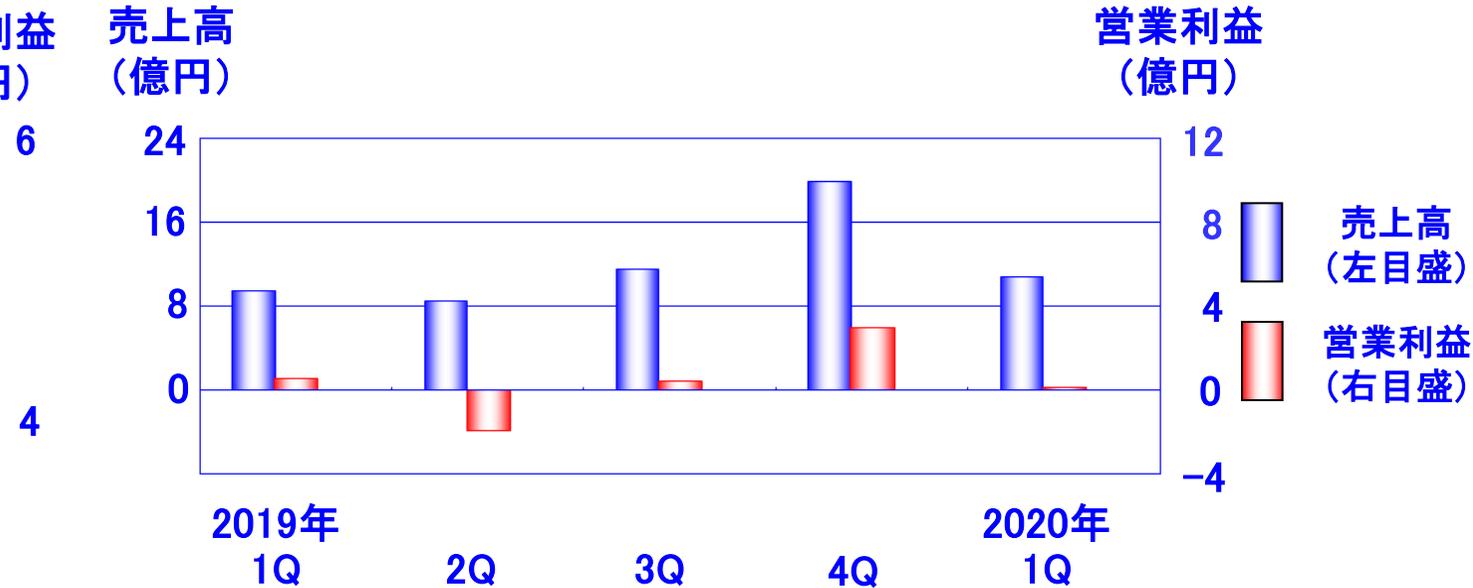
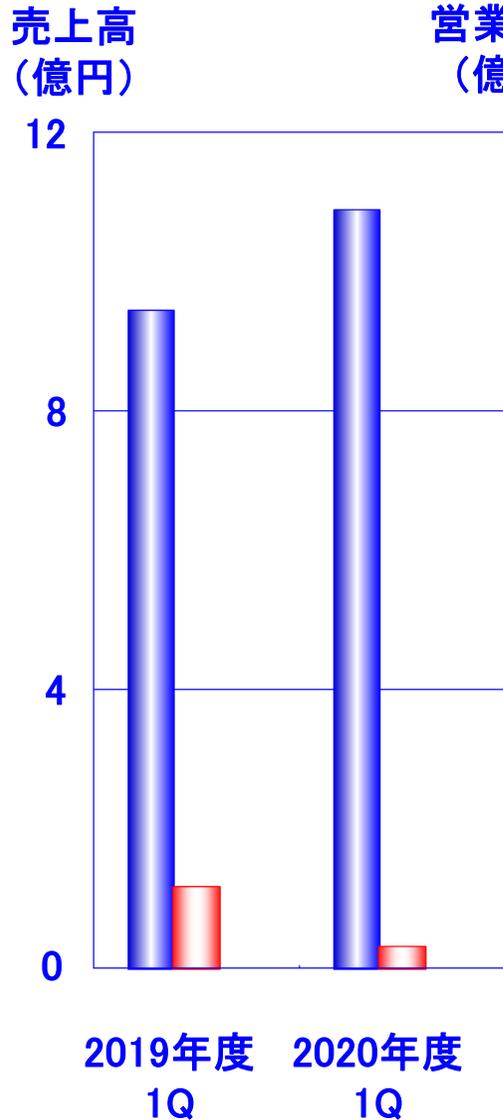
樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ウレタン原料向けおよびタイヤ用途向けが、米中貿易摩擦や新型コロナウイルス感染症による自動車メーカーの操業停止等の影響を受け、減収</li> </ul>	
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、工事の延期や中止等が発生し、材料販売や防水・止水工事の需要が減少したため、減収</li> </ul>	
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・剥離剤向けが堅調に推移したものの、医薬向け中間体の需要が減少し、減収</li> </ul>	



過酸化水素及び誘導品（※）

- 過酸化水素誘導品は、衣料用漂白剤や家庭用洗剤向けの需要が増加し、増収となったが、過酸化水素は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、紙パルプメーカーの操業が悪化し、また、旅行者が減少したことでリネン向けの需要が減少したため、減収

※過炭酸ナトリウム、過酢酸等



アグロサイエンス

- ・殺虫剤は、顧客の在庫調整により販売量が減少したが、一方で、ゴルフ場向け除草剤の需要が堅調に推移し、また、家庭園芸向け除草剤は、新型コロナウイルス感染症による巣籠りで需要が増加したため、増収

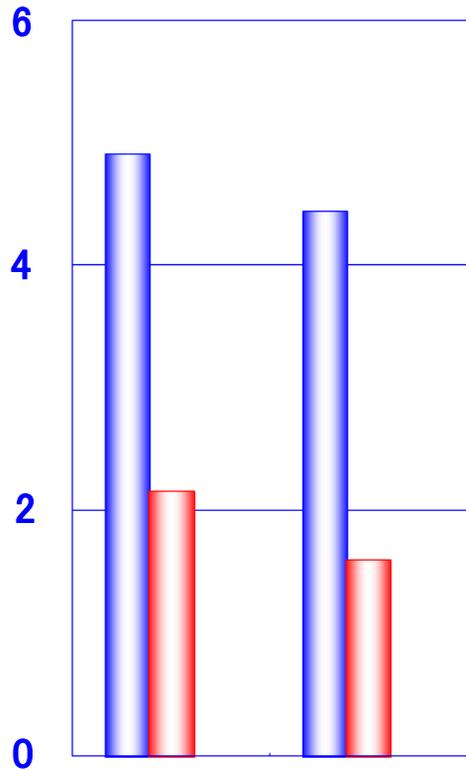


売上高  
（億円）

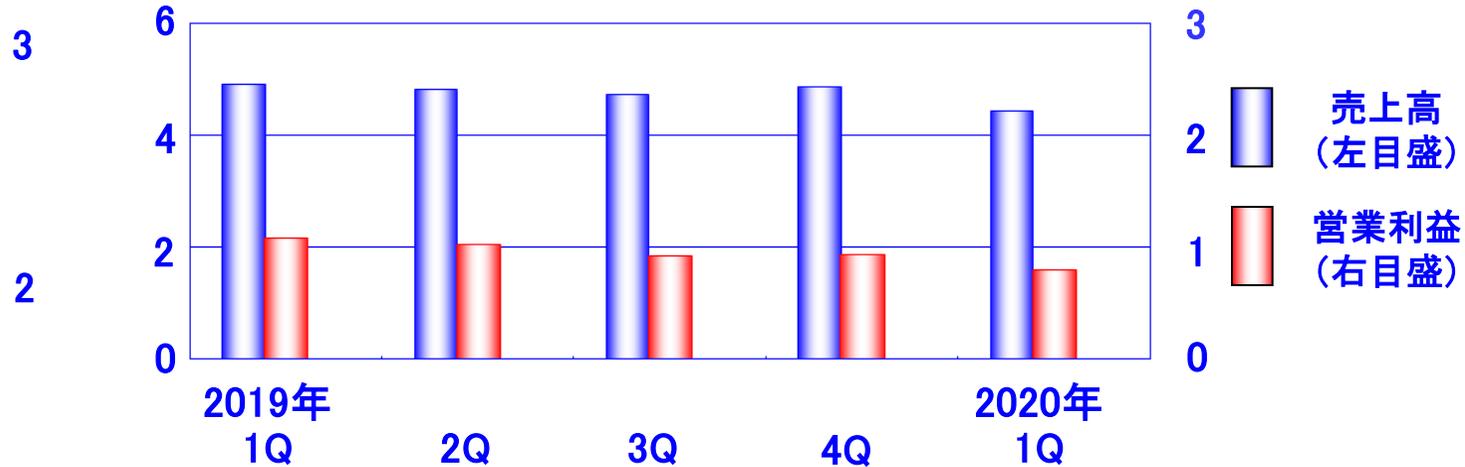
営業利益  
（億円）

売上高  
（億円）

営業利益  
（億円）



2019年度 1Q    2020年度 1Q



物流関連    ・新型コロナウイルス感染症や米中貿易摩擦の影響を受け、  
輸出の取り扱い量が減少し、減収

- ・当第1四半期の業績は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大を背景としたPCR診断キットの需要の急拡大により、当社の子会社で開発したPCR診断キット用材料の需要が急激に増加し、前年同期比で大幅な増収増益
- ・しかし、第2四半期は、新たなPCR診断キット用材料メーカーの市場参入により競争が激化したことに加え、PCR検査以外の検査方法(抗体検査等)の併用も更に進むこと等から、PCR診断キット用材料の大幅な需要減少を想定

(単位:百万円)

